

雅楽



古代より受け継がれてきた雅楽。その樂人・舞人の着ける美しい装束は、雅楽を華やかに引き立てます。大変貴重な納言判の装束を着る衣装の美演と、演奏を通して、雅楽の奥深さを堪能ください。

令和7年 1月18日(土) 14時開演 (開場は13時30分より)

会場 東海道かわさき宿交流館 4階会議室

出演 高橋忠彦(特別協力) 野津輝男 高多样司 額縁拓也

企画協力 一般社団法人 雅楽協会

定員 100名(全席自由) / 料金 1500円(当日券のみ)



高橋 忠彦



野津 輝男



高多 祥司



額縁 拓也

解説、ジャパノロジーミュージアム代表 山縣 基与志

主催 東海道かわさき宿交流館

協力 公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会

〈衣装〉高橋忠彦(たかはし ただひこ)
雅楽装束師。雅楽装束に携わるようになり、宮内庁式部職装束部の衣装方として長年従事。数々の雅楽着装に携わる第一人者。
2019年、文化庁長官表彰の被表彰者に選定される。2020年には黄綬褒章を受章。

〈演奏〉野津輝男(のづ てるお)
音楽家。笙奏者。笙・雅楽合奏を多恵輝氏に師事。音楽は笙学。
東京芸術所に所属し、古典の雅楽を中心とした国内外各地の舞台、サントリーホール定期公演などに出演。作曲曲も手がけており、雅楽管絃に編曲した「君が代」さくらをYouTubeで好評公開中。

〈演奏〉高多样司(たかた しょうじ)
東京芸術大学音楽学部邦楽科雅楽専攻卒業。重宝を高桑賢治、歌物を東儀孝季、右衛門を松井北斗の各氏に師事し、卒業後に琵琶、合奏を多恵輝氏に師事。
東京芸術所の一員としてサントリーホール定期公演やドイツ公演等、国内外の公演に参加。

〈演奏〉額縁拓也(にうけつ たくや)
東京藝術大学邦楽科雅楽専攻卒業。国内外の音楽プロジェクトに多数参加。
古典の演奏はもとより、雅楽の新たな形を追求し、国内外の様々なアーティストと共演、美術等他ジャンルとの共演・録音など多岐にわたる。

次回
予定

江戸時代の粋に遊ぶ その62

「津軽三味線」

出演 佐藤 史織 ほか

2025年4月19日(土) 14:00開演 (開場 13:30)

料金 1,500円(全席自由/当日券のみ/定員 100名)

※開催日程は予告なく変わる場合がございます。予めご了承ください。

【交通アクセス】 JR 川崎駅 中央東口 徒歩約10分 / 京急川崎駅 徒歩約6分

〒210-0001 川崎市川崎区本町1-8-4

【TEL】044-280-7321

東海道かわさき宿交流館

